

本日の資料

□www.jimakudaio.com/au-1123



字幕大王 自己紹介

- IT技術者として30年以上の経験
- 2013年に「日航123便御巣鷹山墜落事件」のYouTube動画を見て、陰謀論に目覚める
- 2016年、海外動画に字幕をつけて紹介する「字幕大王」開始
- 2020/4、コロナの真実を暴く動画の紹介で、ある程度のフォロワー
- 同年/11、日本と子どもの未来を考える会(ニコミ会)に参加。デモ主催者として活動
- 2023/2、羊にならない独立個人を目指す一般社団法人ノーシープを設立
- 2023/6、ノーシープフォンを販売開始
- 2023/12/20、翻訳本「本当は何があなたを病氣にするのか?」上巻発売

宣伝

「本当は何があなたを病氣にするのか?」上巻

ヒカルランドより、2023/12/20発売

□現代医学のほとんどすべては間違い!

- 中村篤史(ナカムラクリニック院長)
 - 「こりや世の中ひっくり返るぞ!」
 - 「読む前と後で世界の見方が変わる」
- 担当者
 - 「医学の見直しというより、思考の枠組みそのものの転換を迫る大著」
- 校正者
 - 「勉強になりました」

本当は何があなたを
病氣にするのか?

あなたが病氣について
知っていると思ってきたこと
すべてが間違いの理由

上



ドーン・レスター &
デビッド・バーカー著
字幕大王訳
中村篤史(ナカムラクリニック院長)推薦



発売記念講演会2023/12/23

本当は何があなたを病氣にするのか？
あなたが病氣について知っていると思ってきたことすべてが間違いの理由 **上巻**

2023年12月
20日発売
ヒカルランドより

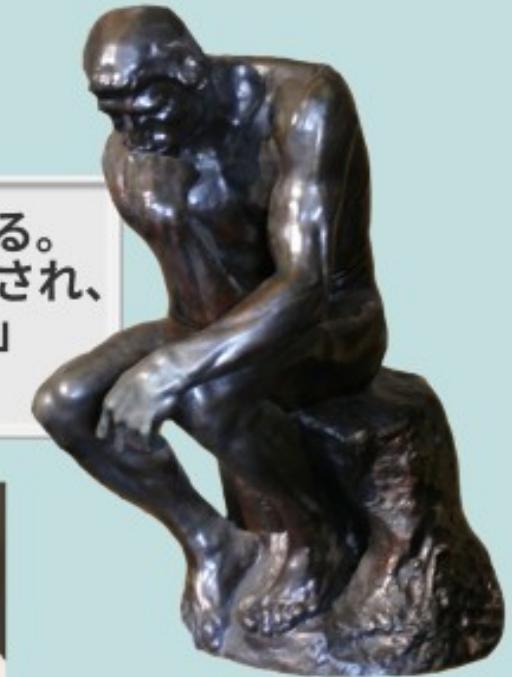
訳者「字幕大王」による出版記念講演会
2023年12月23日(土) 13:15～18:00

川崎市産業振興会館
(JR川崎駅徒歩6分)
9F 第3研修室

「すべての真実は三つの段階を経る。
最初は馬鹿にされ、次に激しく反対され、
最後には自明と受け入れられる」

アルトゥール・ショーペンハウアー

ゲスト（敬称略）：
鵜川和久（NPO法人駆け込み寺2020理事長）
高橋清隆（反ジャーナリスト）
[ZOOM出演]中村篤史（ナカムラクリニック院長）



主催：一般社団法人ノーシープ(no-sheep.org)

申込・詳細：未定

「ウイルスは存在しない」講演会2024/1/27

□名古屋、芝電ビル

□フラットアーサーの中村浩三さん主催

- 注:私はフラットアーサーではありません



ウイルスは存在しない

恐怖で人々を支配する利権を暴く

字幕大王

予定:2024/2/10

□出版社ヒカルランド「イッテル本屋(飯田橋)」にて「本当は何があなたを病氣にするのか?」セミナー

テクノクラシーとは何か？

コーポレートクラシー（企業利益優先主義）

- 政府（自治体含む）が企業あるいは経済団体に乗っ取られる
- その政策は企業の利益のためだが、国民には何らかの嘘の理由を吹き込む

しかしいざれは「おかしい」とバレてしまう

コーポレートクラシーの卑近な例

- 土建屋が政治を動かして箱物行政をさせる
- 政治家・役人はその見返りをもらう
- 住民の税金は無駄に費やされる

メディアはこの程度なら報道する
この連中は、メディアまで買収できない

テクノクラシー(技術家主義)では?

- 「専門家」が、「高度な技術的専門知識」により、政策立案に参画する
- しかし実際には
 - 根拠の無い理屈で、好き勝手をさせる
 - 結局は、つながりのある業界にたんまり儲けさせる
(コーポレートクラシーを含む)
 - 政治家は「バカ」なので何をしてるのかわからず、言いなり
 - 害を被るのは、その国民
- さらに実際には
 - 「専門家」を称する者は、さらに上から指示を受けているだけ

テクノクラシー典型例（コロナ騒ぎ）

- 専門家（及び官僚）が、政府・企業・医療ピラミッド、テレビタレントに一律に指示する
 - 専門家が主導権を握る。「専門家」が何でも知ってるとの前提
- 医療業界を儲けさせ、金のために良心や疑問を無くさせる
 - 経済を制する者が世界を制する。金で行動を左右する
- 人々の行動制限をし、言論の自由を剥奪。互いに監視させる。異論を唱えさせない。

コロナ騒ぎの嘘

- 恐ろしい感染症が蔓延している
- マスク・自粛をしないと大変なことになる
- ワクチンを打たないと助からない。他人に移してしまう
- みんなのためです。従いなさい

こういったウソを「専門家」がばらまき
政府・企業問わず、一律の指示を受けている

政治家やテレビ出演者の役割

- 「上」から言わされたことを、国民に伝えるだけの操り人形
- 背後に誰がいるのか、一切わからなくする役割を持つ
 - 新聞・テレビに出てくる者は、操られているだけ

マイナンバーの強制化・スーパーシティ等

- 巨大IT企業つながりの「専門家」が、背後から日本政府に指示
- 業界を大儲けさせると同時に、テクノクラシーの夢である「全員の徹底的な監視」を実現
 - 例えば、マイナ保険証は、個人の病歴等を吸い上げ、経団連企業が儲けるため

テクノクラシーとは

- 国家体制はどうでもいい(民主主義だろうが、独裁だろうが)
- (おおまかには) 経済を支配する者が、社会を支配する
現代では、それに加えて情報を制する者が支配する。専門家(官僚含む)が指示する。
- 民主主義システムには何の意味もない
単に奴隸たちを騙すための見せかけにすぎない
- 選挙には何の意味もない。自分達が選んだと思わせるため

概念的にはこれと同じ

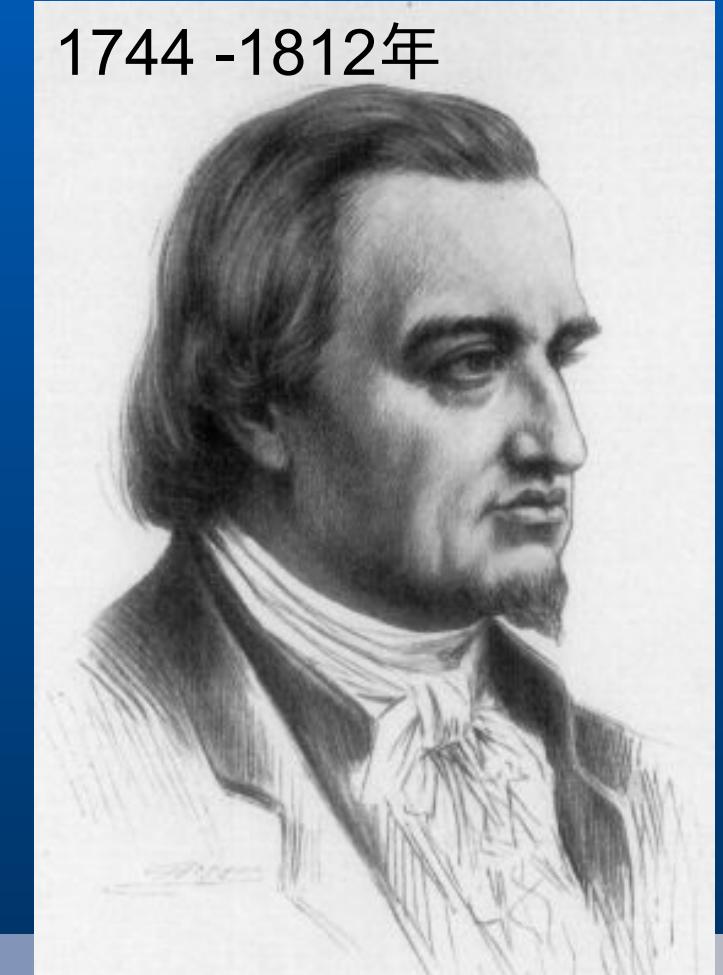
□マイヤー・アムシェル・ロスチャイルド

「私に一国の通貨の発行権と管理権を与えよ。
そうすれば、誰が法律を作ろうと、そんなことは
どうでも良い」

当時既に、「国家体制には何の意味も無い」
ことを喝破していた

つまり、学校で習うことはまるでウソ

1744 -1812年



一体誰が「実権」を握っているのか？

- 個人やグループは、明確にはわからない
- ドクター・シバによれば、The Swarm、金持ちの「群れ」だとう
- これらの「群れ」の意思が、現在世界に好き勝手しようとしている
- 再度、民主主義などは無関係

ドクター・シバの話

現代では「情報」が重要

□「情報は新たな石油である」

新生活様式



アリソン・マクダウェルの研究による
wrenchinthegears.com

テクノクラシーの仲間たち

- 国連
- WHOを頂点とする医療関係者ピラミッド、製薬会社
- 世界経済フォーラム
- 検閲・監視を行う巨大IT企業
- 食料やエネルギーを牛耳る多国籍企業
- 金融を操る巨大資本と銀行
- 経団連
- 命令される役人
- 「アドバイス」を受ける政治家
- 指示されるメディア

テクノクラシーに国境は無い

- 単にフランチャイズのように各国支部があるだけ
- すべて(漠然とした)中央が支配している

国という概念は捨ててください
これは、連中と「その他大勢」の戦いです

今現在テクノクラシーが猛威をふるう理由

- 全人類を、ただの羊として管理・支配する「夢」に必要なデジタル・テクノロジーが実現した
- 長年にわたる嘘を人々が「常識」と見なし、もはや疑問を持っていない
 - ほとんどの現代医療の嘘
 - 政府の政策は国民のためという嘘
- メディアは支配済みで、どんな嘘でもまかり通る

ここがとても重要!

テクノクラシーの近い将来の夢

連中は計画を隠してもいない

- 様々な文書を丹念に読めば、何を考えているかわかる
- 「ひっかけ」があるので、読み方には注意必要
- 自分が「支配層」になったつもり、「羊を手なずける側」になつたつもりで読まなければいけない

詐欺師による「力モ向けセールス」マニュアル

リッチなエリート階級は懸命に
私たちの未来の綿密な計画を
たててきた、連中が支配するものよ



2030年までに
プライバシーは
無くなり
何も持たず、
満足するのです



世界経済フォーラムはスイスのダボスで。
そして多くのカンファレンス、組織、秘密の
ソサエティ、それほど秘密ではないソサエティが。
ここでは話しきれないわ

ちょうど過去の奴隸所有者が
自らを善意の主人とみなしたように
今日の金持ちは
自らをそうみなしているの。
他全員にとってのベストを知っていると



国連SDGs17のうち 16.9は全員の合法的 な識別よ

貧困無し、飢餓無し、良い健康、福祉、質の良い教育、
清潔、飲料水と衛生、クリーン・エネルギー。
まともな仕事と経済成長、工業とインフラのイノベーション、
不平等の軽減、持続的コミュニティ、責任ある消費と生産、
気候変動アクション、命の水、命の土地、平和、
正義と強い機関・制度、ゴールのためのパートナーシップ

平和、正義、
強い機関・制度

16.9の全員の
合法的識別には
2030年までの
出生届無料化を含む

ブロックチェーン上の デジタルIDが望ましい

ブロックチェーンとは
記録とデータのデジタル台帳



SDG 16.9

マイナンバーもこの延長線上と思われる

SDGのすべての文言には裏がある。上面を見てもわからない

9.すべての人が法的な身分証明持てるようにする

- “2030年までに、出生登録もふくめて、すべての人が法的な身分証持てるようする。”

日本ではほとんどの人が持っている身分証明。免許証やパスポート、マイナンバーカード、保険証などあらゆる形の身分証明があります。しかし、開発途上国ではまだまだ身分証持てていない人がいるのが現状です。

不便な生活を強いられていたり、身分証明ができないことで貧しい暮らしをせざるを得ないでいたり、など、あらゆる悪循環に陥ってしまいます。

また、世界中で、5歳未満の子どものうち、およそ4人に1人は出生登録がなされておらず法的に「存在していない」状態に置かれています。このような状況は、教育を受けることができなかったり、裁判を行えなかったり、あるいは人身売買など、犯罪の温床にもなっているため、早急な是正が望まれます。

SDGs目標16では、2030年までにあらゆる人が身分証明持てるようにすることを目指しています。

ちなみに、SDG 3.8は？

□先進国が金を出して、途上国の国民皆保健(UHC)を実現し、それで毒性薬と毒性ワクチンを消費させる。

指標 3.8.1

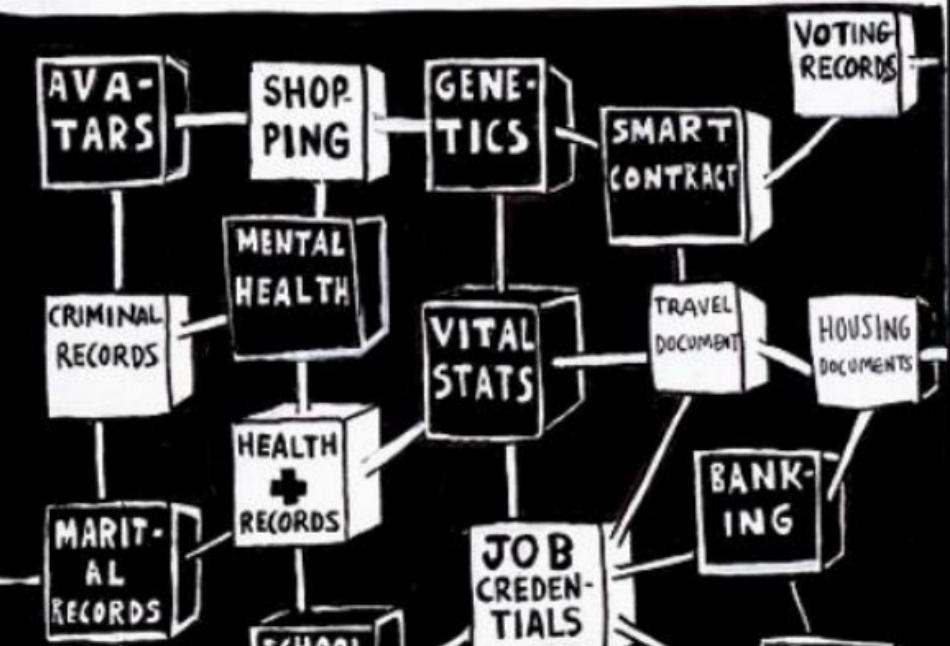
指標名、ターゲット及びゴール

指標 3.8.1 必要不可欠な保健サービスによってカバーされる対象人口の割合

ターゲット 3.8 すべての人々に対する財政保護、質の高い基礎的なヘルスケア・サービスへのアクセス、及び安全で効果的、かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンのアクセス提供を含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成する。

ゴール 3 あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

最終的には、あなたのすべての記録が、
あなたのデジタルウォレットに記録される



アバター、ショッピング、
遺伝子、スマート契約、投票記録
犯罪記録、メンタルヘルス、健康状態、
旅行記録、住居記録、婚姻記録、
社会的ランク、学校記録、資格証明、
銀行記録、バイオメトリックス、SNS、
免許、トークンと暗号、データ、保険

これがプライバシーと安全だと言って
私たちに売り込まれるの



**これらすべての情報を使って
わずかな人間がとても儲かるのよ**

ワクチン債 パンデミック債



**デジタルIDこそが、私たちの行動監視のキーで
テクノクラーツは、私たちをスマートシティに
押し込めようとしているわ**



私たち自身を直接的にメタバースに
移行すべきと言う者もいるわ

日本のムーンショット計画の ゴール：2050年に向けて

101011011010101110101010101010101
0111010100000110001101010101010101
11110001001011001100001010101010101
0100101101011000110101010101010101

第一のゴール

空間、
時間、
身体、
脳

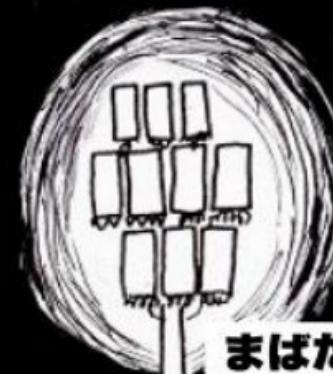
からの自由

日本政府と
科学技術庁

協力は
米エネルギー省
カーネギー財団
ソフトバンク
ソニー
EU、その他

一拳手一投足、音も、考えも、
気持ちも、見逃さない

ジオフェンシング



まばたき
回数

虹彩
瞳孔
スキャン

心拍回数
心臓パルス

呼吸回数

気分
考え
無意識

GPS
トラッキング

デジタルホコリ

第4次産業革命(WEF)

「第四次産業革命」というフレーズは2016年の世界経済フォーラムにおいて初めて使用された^[7]。

スイスのダボスで開かれた2016年の世界経済フォーラムの年次会議では「第四次産業革命の理解 (Mastering the Fourth Industrial Revolution)」がテーマとなった。

第四次産業革命はデジタル革命を大前提としており、技術が社会内や人体内部にすら埋め込まれるようになる新たな道を表している^[8]。

Arik Segalによれば、第四次産業革命は人間のコミュニケーションと紛争の解決を改善する独特の機会を持っているという^[9]。

第四次産業革命はロボット工学、人工知能 (AI)、ブロックチェーン（仮想通貨）、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー（生物工学）、量子コンピュータ、モノのインターネット (IoT)、3Dプリンター、自動運転車（スマートカー）、仮想現実、拡張現実、複合現実などの多岐に渡る分野においての新興の技術革新を特徴とする^[10]。

これらの技術革新は2030年代までには機械の自律性や柔軟性を極限まで高め、機械が人間にとて創造的でない仕事を肩代わり出来るようになる。それどころか、次第に生物と機械を区別できなくし（動物との意思疎通など^[11]）、最終的にはバイオテクノロジーやナノテクノロジーを用いた人体改造でポストヒューマンを生み出すことを可能にする。その時点で、人間の思考は機械の情報処理と統合され、真の意味で拡張可能になり、人類進化は次のステージに進むことになる。



1983 Industrial Robots KUKA IR160/60, 601/60

まとめると

連中のゴールは、我々の徹底的な羊化

- 何もわからず、物も言わず、ただ楽しまされているだけの羊
- 彻底的に監視し、群れをはみ出す者を排除する
- いつでも好きな時に、好きな「予防注射」を打たせる
- これにより、金儲け主義の企業が大儲けする
 - しかし、こんな世界で「儲けて」何の意味があるのか？

パンデミック条約・IHR改正との「車の両輪」

- プライバシーの剥奪～全員の徹底的な監視
- 言論の自由の剥奪～都合の悪い情報の徹底排除

この二つを実現しなければならない
そのために、政府も巨大ITも必死

あまりにわかっていない人が多い

- 自由と民主主義の社会、法治国家という洗脳済みの前提からしか物を見ていない
- だから、「我々の議員を出して社会を変えよう」などという発想が出る→無意味